

令和3年第5回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和3年5月18日（火）

開 会 16時30分

閉 会 17時00分

場 所 仁多庁舎 3階 301会議室

出席委員 福田充雄教育委員 荒金勇吉教育委員 谷尻圭子教育委員
高橋美奈教育委員

委員会事務局 永瀬教育魅力課長 吉川結婚子育て応援課長

岸本教育魅力課課長補佐 長谷川教育魅力課長補佐

教育長

（オリンピック聖火リレーについて）

（県内コロナ感染状況について）

- ・県内で高等学校や中学校等学校関係者のコロナウイルス感染者が出ている。奥出雲町にいつやって来るか心配している。様々な知見が蓄積されているため、昨年度と比較して対応はよくなった。

（連合陸上大会について）

- ・明日の午前中の小学校の陸上大会は今年は5、6年製のみ参加。感染対策のため、保護者への案内、教育委員への案内を控えている。

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 荒金委員

事務局

報告第4号 校區別協議会の状況について

※資料により説明

5月27日19時からカルプラにて第1回目の代表者会議を予定している。地域の住民と直接話す機会が無かったため、この会議には町長が参加し、再編に対する思いなどを直接話す。

2月3月に教育委員会が各校区を回って説明をした4つの提案、通学方法、放課後児童クラブ、校舎の拠点施設化、仁多地域統合小学校について各校区から意見や要望をまとめて欲しい事、合わせてそれ以外の検討して欲しい項目の提出を依頼した。各校区から提出のあった項目を資料として配布している。校区によっては意見がまとめられずそのまま提出したところや、賛成派が多いが反対派の意見も出すという校区もあった。

第1回の会議で各校区から出た意見全てに回答はできないので、共通する意見の中で明確に返答出来る意見に対して回答をしたいと思っている。印象として通学方法の意見が多い。代表者会議への情報提供は随時行っていく。

	<p>総合教育会議を受けて布勢小学校改築期成同盟会から児童の安全安心の確保について要望が出ている。総合教育会議での確認事項を踏まえた上で、町長、教育長と共に本日布勢地区に出向いて説明をする予定にしている。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>その他連絡事項</p>
事務局	<p>耐震未実施化の校舎の対応として代替校舎で行う方針を決めた。布勢、三成小学校の児童の安全確保のため、現時点ではリース、ユニットの代替校舎での対応を想定している。布勢小学校については現校舎の隣接した町有地へ建設する予定にしている。三成小学校については様々な検討をしていたが、現地への新築校舎建築を想定した場合、仮設校舎の併設は難しいため、カルプラの駐車場へユニットを建設し、カルプラの施設の一部を利用した代替校舎を検討している。</p>
教育長	<p>布勢小学校の代替校舎は体育館の横の敷地を検討している。体育館はそのまま利用する。ランチルームは耐震工事に含まれていないが、代替校舎から距離があるため、代替校舎内に変わりの部屋、あるいは教室での給食を想定している。三成小学校について、校庭での工事は騒音などの問題があるため、カルプラの一部施設及び町体の利用を提案している。</p>
高橋委員	<p>カルプラ駐車場の代替はあるのか。</p>
事務局	<p>現段階で検討中であり確定ではないが、現三成小学校敷地の工事に影響のない場所を考えている。</p>
谷尻委員	<p>旧三成保育所があった土地を整備すれば車が止められるのではないか。</p>
事務局	<p>検討する。</p>
教育長	<p>カルプラ駐車場に関しては、全面では無いにしてもかなり制限をかけさせてもらう必要がある。カルプラ駐車場以外に三成小学校の児童を高田小学校へ通わせることも検討したが、教室の不足、冬場の交通手段を考えると難しい。三成の子どもたちが歩いて通学するとなると地域住民には迷惑をかけるが、カルプラの駐車場がいいのではないかと考えている。出来るだけ早い時期に使用期間を確定してアナウンスをして了解を得るしかない。</p> <p>土日に関しては役場職員が利用している駐車場等があるが、平日は児童の動線確保などあるため、検討していく必要がある。他にあるか。</p>
福田委員	<p>今年度の修学旅行の予定はどうなっているのか。</p>

教育長	<p>町内の学校全てで確定はしていないが、仁多・横田地域共に小学生は合同で9月に行く。目的地は県内の予定。中学校については、横田中学校の2、3年生が9、10月に県内で、仁多中学校に関しては3年生が県内、2年生は検討中。今現在の予定では1泊ないし0泊で県内を検討している。小学生は宿泊を予定しているが、中学生は0泊も想定しながら計画している。</p>
福田委員	<p>修学旅行で奥出雲町へ来てもらうアイディアを考える必要があると思っている。農業遺産、たたらと全国へ発信しているが、修学旅行で利用して欲しいと思っている。時期の関係があるかもしれないが、山やたたら、文化的景観など奥出雲町には資源がたくさんあると思うのでどこかで検討をしてもらえないか。</p>
谷尻委員	<p>私も同じ意見。出雲市内の小学校は斐伊川の勉強のため下流の斐伊川平野へバスで社会科見学に行っている。それならば上流のたたら製鉄の話を聞きに来てくてもよいと思う。奥出雲町の地域の方はいろんな話が出来る人もいるため、宿泊施設を利用して交流会をするとよいのではないかな。バスや宿泊施設の利用に繋がるのではないかな。</p> <p>コロナ禍で県外に移動が出来ない今はチャンスではないか。奥出雲町の循環型の農業がどのような産業か学んでもらう事も重要だと思っている。最近鬼滅の刃がブームになっているため、たたらと刀剣館の黒い刃や鬼の舌震の一刀切の岩などいいのではないかな。</p>
福田委員	<p>地域づくり振興課や農業振興課等様々なところから資料を集めて奥出雲町にはこのような資源があると発信していく事を考えてもいいのではないかな。</p> <p>町議会で木次線の話が出た。子供達にもっと利用させないといけないという意見が多くの人から上がった。私も子供に木次線を利用して欲しいと思っている。今は補助が出るためほぼ無料で利用できる。社会科見学として木次線で奥出雲から宍道までの景色やトンネルなどを見て勉強をして、宍道にバスを停めておいて帰るのはどうか。木次線が廃線になるかもしれないと言われている中で子供のころから木次線に親しむ仕掛けが必要だと思っている。</p>
事務局	<p>修学旅行に利用するならばルートをおお程度示す必要がある。そうなると地域づくり推進課などと連携して見繕う必要がある。後は周知の方法を検討しなければならない。</p>
教育長	<p>修学旅行までとはいかないが、広瀬中学校から学校博物館からのルートで棚田の見学のために2年生が来る予定にしている。ふるさと学習等の社会学習で木次線を利用しようと思った時に雪などの理由で止まっている事がある。木次線の補助金については地域振興課から校長会で各校長へ説明があった。私の方からは協働会で利用するように話をしている。出来るだけ利用する機会を作って徐々に利用頻度を上げていく事が必要。</p>

ネックになっているのが仁多地域から横田高等学校へ通う生徒の多くが自家用車通学をしている。また、中学生が木次線を利用する機会が無い。アナウンスをしているが、浸透していかない。

再編統合の時期について、私の中の想定では用地買収などの関係で仁多地域の統合がずれる可能性が高いと思っている。当初、仁多・横田同時の統合を予定していたが、仁多地域の統合時期がずれたため、横田地域もそれに合わせるのはいかがでしょうかと思っている。横田地域の統合は令和 7 年を堅持しておきたい。町内 10 校の学校を統合して町内 2 校にする大事業を同時に行うのは難しい。そのため仁多・横田地域で統合が 1 年ずれても仕方がないと思っている。その場合には、総合教育会議で最終決定をしなければならない事を承知して欲しい。

< 次回定例会は 6 月 1 6 日（水） 1 5 時から（予定） >

会 議 録 署 名

署名委員

荒金 勇吉

教育長

松田 武彦